

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.4.15

No. 5

日本学生支援機構奨学金希望者はその準備を



進学をしたいが経済的理由により進学をどうしようか迷っている人には様々な奨学金制度が用意されています。最も一般的で、進学者の多くが利用しているものは日本学生支援機構のものでしょうか。その他にも新聞奨学生、学校独自のもの、各地方自治体のもの等様々なものがあります。細かくは各自で調べてみてください。こうしたものを利用すると、親の負担をかなり軽減し、進学をあきらめないで済む可能性があります。

今回は日本学生支援機構の奨学金制度について概要を説明しましょう。この申込は高校在学中と、進学後に申し込む2つの方法があります。また無利息の第一種と年利3%を上限とする利息付（在学中は無利息）の第二種がありますが、第一種は成績等の審査基準があり簡単には認可されません。第二種は後で返さなくてはいけないと思うかもしれませんが、最長16年間という長い期間で返すために返却時はそれほどの負担には感じないでしょう。

月々借りる額も3、5、8、12万円の中から自分で選択できます。もしこれを希望する者は、高校在学中であれば第一次7/8、二次10/21、三次1/11がそれぞれの申し込み〆切です。希望者は、教務室の原澤先生に申し出てください。まだ具体的進路が決まらなくても申し込みが可能です。専門学校や大学等へ進学した後、来年の4月になり各進学先で申し込むことも出来ませんが、可能ならば高校在学中に申し込み、認可されれば安心かと思えます。

「自立」と「自律」

一般的に高校2年生くらいまではまだどこかにひ弱さが感じられても、高校を卒業する頃になると急に大人びてきます。この1年間の心の成長には目を見張るものがあるでしょう。皆さんは表面的には少し大人びてきましたが、まだ親や周囲に頼っているのが現状でしょう。

しかし、半数くらいの方は来年の4月からは社会人の一員となり、いつまでも子供でいるわけにはいかなくなります。つまり他に依存しないで、自ら立ち立ちをしていかなければならないのです。それが自立（self-standing）です。

それでは自律とはどのようなことでしょうか。自律（self-directing）とは、自力で立った後は、自分が決める方向に進んでいけるということです。“律”とは、規範やルールのことです。自らの価値観を持って、組織全体の価値観との整合性を図りながら、自ら考えながら進んでいくことです。

自律的に生きるためには、単に他から自立しただけではなく、自らきちんとした価値観を持ち善悪を判断しながら生きていくことです。社会生活の中では自律した生き方がより大切になります。

皆さんは当面は如何に「自立」していくかが課題です。その手段としてどのような進路をとるかが問題となります。その後は如何に「自律」した生き方を心がけるかが大切になってくるでしょう。

